夢中 熱中 青春ライフ！

クローズアップ ㊱

DSCC－A

ドライバーとナビゲーター（案内人）のチームワーク、天候やコースに合わせたタイヤ選びなど、判断力と運転テクニックが要求される競技、カーラリー。今回はその魅力を知り、「どんぐりスポーツカークラブ・秋田」の事務局を担当し、モータースポーツの振興に力を注いでいる山本朗さんにお話を伺いました。

'93どんぐりサマーナイトラリー、スタート風景

愛好者が増えています

DSCC－A（どんぐりスポーツカークラブ・秋田）の大館支部は十三年前に組織されて、現在三十人を超える会員がいます。二十歳代から五十歳代まで幅が広く、女性会員もいます。一九八〇年ごろピークだったモータースポーツ愛好者も、改造車に対する法規制が厳しくなって一時減少したんですが、ここ二、三年はまた増えてきたような気がしますね。

猛スピードを出して走行するので危険なスポーツだと思われがちだけど、車は補強材で補強したりして安全に対する装備は厳重にしているんです。これまで何度か車ごと横転したことがありますが、不思議とけがをしたことはないですね。

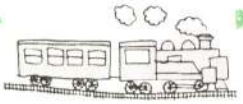
ラリーは林道などのコースと一般道を使って行われるんです。万が一の事故を考えて、一般道を使う場合は交通量に配慮して、普通はナイトラリーです。ラリーのおもしろさといえば、林間を縫って疾走する爽快感と、決められた条件の中でテクニックやスピードを競い合うことですが、今まで行ったことがない、いろいろな所へ遠征できるのも楽しいですね。

'94ダイヤスターウインターラリー表彰式（左から2人目が山本さん）

狙ってみたい JAFチャンピオン

クラブでは、「どんぐりフレッシュマンラリー」（秋田県大会）、「どんぐりサマーナイトラリー」（東北選手権）を主催していますが、今年は県大会を鷹巣で、東北選手権を河辺町で、どちらも五月に開催する予定です。

今年はJAF（日本自動車連盟）B・C地区（関東・東北）ラリー選手権Aクラス（一〇〇〇CC以下）でシーズンチャンピオンを狙いたいと思っています。年間八戦中の第二戦までが終わったんですが、二戦とも優勝できたので、この調子で最後まで頑張りたいですね。ぜひ応援してください。



上尾発 ➡ 大館着

前略 大館市民になりました ㊲

☆今回は、この春新築された水門前住宅に入居したばかりの宮原雅義さんご一家です。

Q・ご家族は何人ですか？

妻の智香子と二人です。

Q・どちらからおいでになりましたか？

今年の一月に埼玉県上尾市から来ました。

Q・大館の印象はいかがですか？

引っ越しの日が吹雪だったんでびっくりしましたね。でも、人柄や交通の流れなどはのんびりしていてホッとしますよ。土地や住宅も首都圏よりずっと取得しやすくていいですね。それと、アウトドアレジャーが好きなので、自然が身近にあるのがうれしいです。

Q・言葉や食べ物はどうですか？

妻が下代野の出身なので、妻の両親と電話することもあるんですが、私は大阪の生まれで、大館の言葉はまだよく理解できないんですよ。魚とかキノコとか、食べ物はおいしいですね。ハタハタが好きなんですよ。サメや馬肉はこちらに来て初めて食べましたね。それに今は米不足ですが、こちらのお米はやはりおいしいですね。

Q・大館にどんなことを望みますか？

今のところ、秋田空港や青森空港、新幹線の盛岡駅から遠くて不便なのが残念ですね。その意味でも新しくできる大館能代空港には、とても期待しているんですよ。それに、駅前の活性化にも期待したいですね。街の顔にふさわしいにぎわいが欲しいです。

雅義さんと奥さんの智香子さん